

# 子ども自然教室「秋ヶ瀬公園 夜の親子観察会」

実施報告書：浦和自然観察会

秋ヶ瀬公園ピクニックの森にて秋ヶ瀬公園事務所との共催で「夜の親子観察会」を実施しました。参加申込者は40名。今回で6回目の実施となるが、過去に2度、雨天により中止となったこともあり当日の天気だけが心配でした。

7月29日(土)実施、雨天延期の場合は翌日の30日に実施予定としました。29日午前9時での天気予報では15:00からの降水確率40%、予想降雨量1mm、翌日の予報も芳しくなかったことから開催を決定するも、午後から雲行き怪しくなり中止を決定。15時頃からはゲリラ豪雨となりピクニックの森BBQ広場は、瞬く間に冠水、池のような状況でした。

翌日の天気予報も前日同様でしたが、雨雲レーダーを気にしながらも実施。参加者は25名に減ったものの、楽しみにされていたご家族多く、スタッフ一同一安心。

16時半に開会式を行い、注意事項を伝達の後には日没前観察会。まずは、アブラゼミの抜け殻を覗いてのオス・メス判定。拡大鏡を覗いて「オスだ。メスだ。」と子どもの歓声。その後、皆でピクニックの森を一周。途中、オカモノアラガイ、カタツムリ、ゴマダラカミキリ、ナナフシモドキ、ハラビロカマキリ等の昆虫観察。日没後に開花観察できそうなカラスウリの蕾を確認。気の早いセミの幼虫が一匹、すでに羽化を始めているのを子どもが発見、初めてのセミの羽化観察に興味津々の様子。やはり、子どもらには、植物より昆虫の方が面白いようだ。BBQ広場に戻り日没前観察は終了。軽食を取り日没を待つ。

日没後はセミの羽化観察。セミの抜け殻が多くついている樹木の周辺でセミの幼虫を探す。子どもらは見つけるのが早い。そこかしこで見つけたとの声。前日の大雨で冠水した影響か、昨年より少ない気もするが、30匹ほどの幼虫を見つかる。その中で動きが止まり羽化を始めた数匹を皆で見つめる。透き通った薄緑色の羽が見えてくる。合間には、クヌギの樹液酒場をしてみるが、残念ながらカブトムシは出現せず。先ほど見たカラスウリの蕾は見事に開花していた。レースの編み物のような姿に、女の子と、お母さんたちは見とれる。あっという間に時間は過ぎ終了時刻の8時半近くとなり閉会。

心配した雨も降らず、事故もなく無事終了。公園事務所の方にも最後までお付き合い頂きました。感謝。